

4月18日に、本校9年生を対象に実施された「全国学力調査」について、結果がまとめました。本調査は、国語、数学、英語の3教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果（国語・数学・英語）

9年生では3教科とも全国平均を下回る結果となってはいますが、昨年度と比べその差は小さくなっています。3教科すべてにおいて、「学習は大切である」、「学習したことが社会に出て役に立つ」と回答した生徒が大幅に増加していることや、これまで無回答が多かった「書く問題」に対しても、挑戦しようとする姿が育ってきていることがその要因だと考えています。

国語科より

「話合いの話題や方向を捉えて自分の考えを持つ」については全国平均を5ポイント近く上回り、「文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ」も全国平均並みとなっていることから、「自分の考えをもつこと」はできていると言えると思います。

しかし、「封筒の書き方を理解して書く」は全国平均の半分程度の正答率となっており、「語の表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する」についても全国平均を大きく下回っています。これらは、実際の生活に直接関連している内容です。国語だけに限ったことではありませんが、実際の生活との関連を意識して学習することが大切です。

数学科より

「反例の意味の理解」は全国平均を2ポイント上回り、「三角形の合同条件の理解」も全国平均並みとなっていることから、知識については身についてきていると言えると思います。

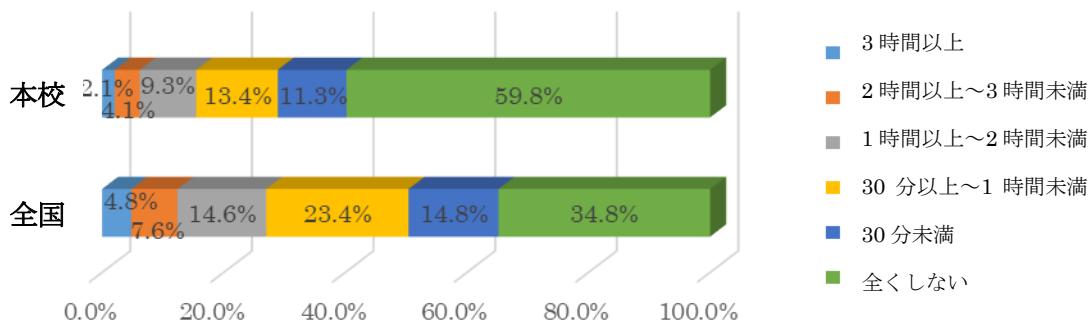
反面、「反比例の表からxとyの関係を式で表す」や「連立方程式を解く」は全国平均を10ポイント下回っています。数学の技能の基礎となる部分ですので、練習問題に多く触れるなどによりその技能を高めましょう。また、「資料を整理した表から最頻値を読み取る」問題においても全国平均を10ポイントほど下回っていますので、資料やグラフを読みとり批判的に考察し判断する機会を増やす必要があると思います。「新聞を読み、考える」などがその機会の一つになると思います。

英語科より

「まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解する」は全国平均を10ポイントほど上回りました。また、「簡単な文で書かれた内容を、読み取る」においても全国平均を3ポイント上回っていることから「聞く・読む」においては一定の力がついていると思われます。しかし、「日常的な話題について、情報を正確に聞き取る」は10ポイント以上、「まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解する」は6ポイント下回っており、英語を聞く機会・読む機会を増やすことでさらに力をつけてほしいと思います。「書くこと」における課題が顕著であるため、特に時制を意識して文章を書く機会を増やしてください。「話すこと」については、「与えられたテーマについてまとまりのある内容を話す」については全国平均を上回っていますが、質問に答えるなどの「やりとり」については、日付の言い方等をはじめ正確に答えることに課題が見られました。自分の考えを述べるような時は細かいルールにはこだわらず内容重視で、簡単なやりとりは正確に表現することを心がけて活動に臨んでください。

生徒質問紙調査から ①

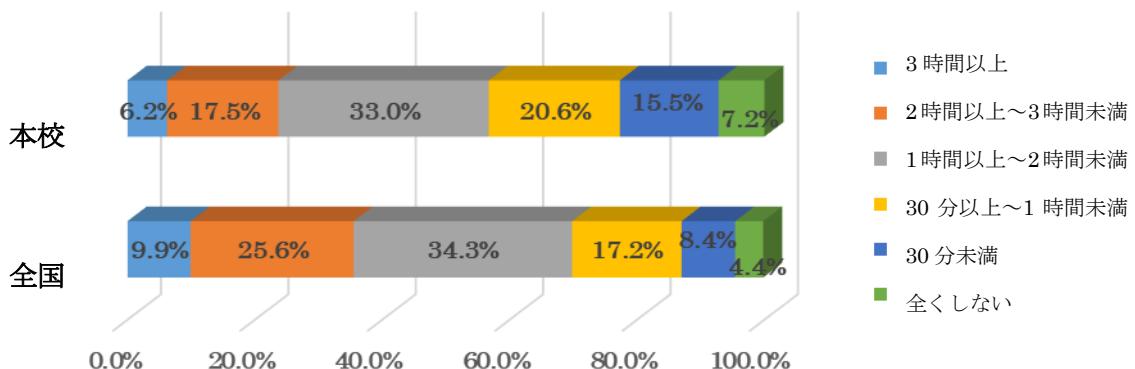
Q 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



「読書が好き」と答えている生徒は全国と大きな差はないのですが、実際に「どのくらいの時間読書しているか」となると、上のような結果となっています。読書に親しむ習慣は、幅広い語彙力を身につけるうえで大切です。「読んで理解する力」は問題文を読む際にも必要ですし、読むことで想像力が身につくとも言われています。「人の気持ちが想像できる」や「これをするとどうなるか想像できる」など生きていく上で必要な力を身につけるためにも読書の時間を取りたいものです。「読書が好き」という気持ちを実際の行動に反映できるよう学校・家庭で工夫できたらと思います。

生徒質問紙調査から ②

Q 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）



全国平均と比べ勉強時間が少ないという結果が出ており、それ自体残念ではあるのですが、国数英それぞれに対して「勉強は大切だと思う」や「将来役に立つと思う」はすべての教科で全国平均を上回っていることから、「大切で、将来役に立つと思っていること」を、実際の行動につなげることができていないという課題が見えてきました。読書時間についても同じことが言えますが、考えていることを行動化する（表現する）ことに重点的に取り組みたいところです。